

# 広島市小社研会報

令和4年4月・5月・6月・7月・8月 第266号

研究主題

社会をみつめ、未来を問い続ける社会科教育の創造  
—教材の意味からせまる授業づくりを通して—

史上最速の6月中の梅雨明け、6月末の記録的な猛暑、7月以降の新型コロナウイルス感染症の再拡大…。本号が届く頃には、夏休み明けの授業も再開し、前期後半の教育活動の実施に向け、各校様々な判断を迫られていることと思います。

「ゼロコロナ」から「ウィズコロナ」へと人々の考え方や生活様式、国や地方自治体の政策が転換される中、3年ぶりに行動制限のない夏休みを迎え、終えました。

以前のような研究授業や研究協議会の実施はまだ難しい面もありますが、それでも各校知恵を振り絞って「今できることを」と実践されておられることを礎に、広島市小社研の今年度の研究行事・事業計画に皆で取り組んでいきたいと思えます。

---

今年度のスタートにあたって（新会長あいさつ）

広島市小社研会長 江波小学校長 阪田 淳二

---

令和4年度、広島市小学校教育研究会社会科部会長を務めることとなりました江波小学校長 阪田淳二と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

さて、本年度第1回社会科部会研究会は、新型コロナウイルス感染者が高止まりであることなどを鑑み、書面を見ていただくことで、研究会に代えさせていただきました。

この2年間で、会員同士が顔を合わせる貴重な場が少なくなっていること、研修の機会が減っていることをとても残念に思っています。

そのような中、これまで、社会科部会に関わっていただいている皆様には、心より感謝申し上げます。

さて、令和9年度に広島市で「全国小学校社会科研究協議会研究大会広島大会」（全国大会）を開催します。研究は一朝一夕でできるものではありません。まずは研究部を中心に基礎固めを継続していきたいと思えます。なかなか研究会全体での研究をしにくい状況です。会員の皆様一人一人が、日々の社会科の授業の中で、社会科の学習において求められている、問題解決的な学習、例えば、

- ①子どもたちが見通しをもって学習をする。
- ②友達と関わり合う中で自分の学びが充実する。
- ③自分の学びや成長を振り返ることができる。

このような授業づくりを実践していただいたり、新しく単元開発をしていただいたりするとよいのではないかと思います。

今年度もこのような状況ですが、しっかりと研究を進めていけるように努力して参りたいと思います。会員の皆様それぞれの役割でご尽力いただきますようよろしくお願いいたします。皆様この1年間どうぞよろしくお願いいたします。

終わりになりますが、今年度も本研究会顧問、広島大学大学院教授 木村博一先生、准教授 永田忠道先生、広島市教育委員会指導第一課指導主事 権藤義則先生をはじめ、多くの先生方にご指導をいただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

## 社会科の授業づくりにおいて大切にしてほしいこと

広島市教育委員会指導第一課 指導主事 権藤 義則

教育委員会指導第一課で社会科を担当させていただいている権藤と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

昨年度同様、先生方におかれましては、新型コロナウイルス感染症に係る対応、また、感染症対策を講じながらの学習形態等の工夫等、対応にご尽力いただいております。

さて、令和9年度に、本市で全国小学校社会科研究協議会研究大会が行われます。全国大会に向けて研究部の先生方を中心に研究を積み重ね、研究の成果を発揮していただけることと存じます。

そのことを踏まえ、今回は、あらためて、「**社会科の授業づくりにおいて大切にしてほしいこと**」についてお伝えさせていただきます。昨年度と今年度、文部科学省初等中等教育局教育課程課の小倉勝登教科調査官にお話を伺う機会がありましたので、その内容と関連させながらお伝えします。

社会科の授業づくりにおいて大切にしたいことは「**単元を意識する・単元を通して考える**」ことです。このことは、これまでも重要とされてきたことで、例えば、具体的なポイントとして以下のようなことが挙げられます。

教材開発 教材研究	①教材開発・教材研究は、学習指導要領（内容）を踏まえ、 <b>単元構成をイメージ</b> しながら行っているか。
学習問題	②学習問題を設定したら、「 <b>学習問題は共有できているか</b> 」、「 <b>子どもが予想できる学習問題か</b> 」、「 <b>予想から見通しをもてるか</b> 」を確認しているか。 ③ <b>学習問題と毎時間の問いは本当につながっているか</b> 。
学習活動	④子どもたちの <b>問題解決に必要な活動</b> か。必然性はあるのか。いつ・どの場面で・どのような活動を行うのか。 ⑤「対話的な学び」は形ではなく、 <b>自己の考えを広げ、深める活動になっているか</b> 。 ⑥ <b>学習したことを基に、社会への関わり方を選択・判断する活動</b> にしているか。

学習評価	⑦「児童生徒の学習改善」，「教師の指導改善」につながるものになっているか。 ⑧単元の目標と評価規準は関連付けて設定されているか。 ⑨授業者の単元構想に基づいて評価規準が設定されているか。
I C T 端末の活用	⑩ I C T 端末は，目標の実現に向かって効果的に活用されているか。 ⑪ I C T 端末の活用が目的になっていないか。

出典：令和3年度各教科等教育課程研究協議会 「小学校社会科における学習内容・授業づくり・学習評価の改善」  
(文部科学省初等中等教育局教育課程課教科調査官 小倉勝登)

これらのことについて，授業者が意識することが大切です。

児童にとって魅力的な教材を用意したり，I C T を効果的に活用したりすることなどは重要なことです。しかし，どれだけ魅力的な教材でも，どれだけ学習方法を工夫しても，「単元を意識する・単元を通して考える」授業づくりでなければ，児童にとって深い学びにはならないと言えます。近年，教材の中身や学習方法に注目が集まり，これらのことがおざなりになってしまっている現状が見られると小倉調査官は危惧されていました。

例えば，①であれば，1時間単位の学習活動や資料等はとても凝ったものになっているが，前後の学習内容と十分につながっていない等が挙げられます。

また，③であれば，「いかす」場面の学習活動が，そこに至るまでの学習内容を十分に踏まえたものになっていないこと等が挙げられます。

年々，社会科部会に新しく入会される先生方が増えていると伺っています。この機会に改めて，市小社研全体で，社会科の授業づくりで大切なことを共有していただけますと幸甚です。

終わりにになりましたが，本市における社会科の授業研究が一層進むことを期待するとともに，今後とも，多方面で先生方のお力を発揮していただけることを願っています。

---

## 「社会科同好会」へのお誘い

社会科同好会長 三入東小学校長 河野 隆

---

今年度もコロナ禍の影響で見通しがもてない状況ですが，社会科同好会の実施を計画しています。これまで2年間，計画通りの実施ができませんでしたが，本年度は3回計画しており，ぜひ実施をしたいと考えています。社会科の授業づくりに役立てていただきますよう，皆さま奮ってご参加ください。

### 〔社会科同好会について〕

社会科は，何より実践があつてこそその教科です。優れた実践や，苦勞して作り上げた実践などに触れ，意見交換することで，授業を作る力がついてくるのではないかと思います。毎回，貴重な実践例や指導案をもとに議論を交わしたり，永田先生の深くて分かりやすい指導・助言を伺ったりして，授業について考え，ともに社会科の楽しさを味わうよい機会となっています。

- 会場：広島市三篠公民館（西区打越町 10-23 電話：237-3077）
- 時間：19時15分～20時45分
- 講師：広島大学大学院 准教授 永田忠道 先生
- 年間計画
- ・第1回 令和4年10月21日（金）  
 単元名 3年生「わたしたちのくらしとものを作る仕事」  
 発表者 広島市立伴東小学校 米山 尚伸 教諭
  - ・第2回 令和4年12月 9日（金）  
 単元名 4年生「災害からくらしを守る」  
 発表者 広島市立矢野南小学校 市位 和生 教諭
  - ・第3回 令和5年 1月27日（金）  
 講話「令和9年度社会科全国大会広島大会に向けて」（仮題）  
 広島大学大学院 准教授 永田忠道 先生

---

## 「社会科授業づくり基礎講座」へのお誘い

「社会科授業づくり基礎講座」代表 広瀬小学校長 尼子 博崇

---

### 〔「社会科授業づくり基礎講座」について〕

令和9年度には、社会科全国大会が広島で開催されます。これまでも、本市社会科部会は、社会科全国大会を通して着実な進化を遂げています。全国大会の成功には、若い先生方の力が欠かせません。そこで、社会科部会では基礎講座を実施し、若い先生方を中心に授業力向上の支援をしています。昨年度は計画していたものの、コロナ禍の影響で一度も実施することができませんでした。今年度こそは、実施したいと思っています。

社会科の授業を行う上で困っておられることや授業づくりのポイント、指導技術等について分かりやすくお伝えする場になるよう、講座を計画しています。

- 会場：広島市教育センター（東区牛田新町一丁目 17-1 電話：223-3563）
- 時間：10時30分～12時00分（土曜開館の日に行います）
- 年間計画
- ・第1回 令和4年 9月10日（土） 岡本先生、米山先生などのお話
  - ・第2回 令和4年11月26日（土） 本講座担当者による実践例紹介など
  - ・第3回 令和5年 1月14日（土） 帝国書院の方による講義など

※第1回社会科授業づくり基礎講座について

- ・本講座を支える岡本典久先生（伴小学校）、米山尚伸先生（伴東小学校）が、授業づくりに関するヒントを楽しく、分かりやすくお話しします。ぜひ、ご参加ください。  
申し込みは、広瀬小学校尼子まで、メール等をお願いします。  
対象は社会科部会員のみではありませんので、部会員以外の方にもお声掛けください。

広瀬小学校 (082)231-0680 尼子メールアドレス：amako76@e.city.hiroshima.jp

---

令和4年度 広島市小社研 役員一覧

---

会 長	阪田 淳二 (江波小)		
事務局長	新田 典生 (吉島東小)		
研究部長	佐藤 健 (楽々園小)		
事務局次長	三好 崇之 (五日市中央小)		
幹事長	岡本 典久 (伴小)		
副幹事長	松崎 浩尚 (幟町小)		
庶務幹事	寺本 美代子 (牛田新町小)	櫛川 尚 (井口明神小)	
	沼尻 理恵 (五日市観音西小)	中塩 聖香 (矢野小)	
	市位 和生 (矢野南小)	石原 隆弘 (石内北小)	

	1ブロック	2ブロック	3ブロック	4ブロック
ブロック会長	平井 史郎 (荒神町小)	砂田 勝造 (戸坂小)	樽谷 秀幸 (湯来南小)	宗像 直子 (安東小)
代表世話係	川口 和郷 (白島小)	原紺 政雄 (高南小)	佐渡 宏行 (河内小)	吉田 嗣教 (飯室小)
ブロック幹事長	江頭 佳佑 (仁保小)	山崎 真未 (可部小)	荒谷 恵志 (井口明神小)	庄司 正史 (古市小)

※各ブロックの各学年代表幹事は未定です。

---

## 県・全国の行事

---

### 〔県小社研関係〕

- ① 県小社研夏期研修会⇒中止
- ② 第59回広島県小学校社会科教育研究大会(三原大会)  
令和4年10月26日(水) 三原市立本郷小学校

### 〔全小社研関係〕

- ① 第60回全国小学校社会科研究協議会研究大会北海道大会  
令和4年10月27日(木) カナモトホール(札幌市民ホール), さっぽろテレビ塔
- ② 令和4年度全国小学校社会科研究協議会研究大会熊本大会  
令和5年 2月 2日(木)～2月 3日(金) 熊本城ホール, 熊本市立向山小学校  
熊本市立出水小学校, 熊本市立砂取小学校

---

## 研究行事・事業計画

---

- 令和4年 5月12日(木) 第1回研究会総会・全体会 ⇒書面開催
- 令和4年 8月 市小社研夏季研修会 ⇒中止
- 令和4年10月13日(木) 第2回研究会(ブロック別研究会)  
⇒オンラインによる研修の予定
- 令和5年 1月12日(木) 第3回研究会(ブロック別研究会)  
⇒オンラインによる研修の予定

### 【あしがき】

6月に本校の4年生が、校外学習で清掃工場の見学に行きました。これから秋にかけ3年生、5年生もスーパーマーケットや自動車工場の見学に行く予定です。この世の中の状況でも行動制限のない現在、感染対策に気をつけながら社会見学やフィールドワークに出かけることができるのは非常に有意義なことです。

だからこそ何のために見学に行くのか、目的意識を持って出かけたいものです。「実際に見学をする時、自分の目で見れば分かることは何か?」「話を聞いたり、質問したりすれば分かることは何か?」「そもそも見学に行かなくても、自分で調べれば分かることがあるのではないか?」

ぜひ、子どもたちとしっかりと確認をして出かけたくださいね。

広島市小社研事務局次長 三好 崇之